

東条地域

東条社線

県道小野藍本線と県道神戸加東線を結ぶバイパス道路として、車道幅員6mの2車線で、片側に2.5mの歩道を確保します。また、県道小野藍本線に接続するため、東条川に延長50mの橋梁を架けます。

事業期間：平成20～23年度 延長：420m



東条吉川線

東条吉川線の長井地内から長谷地内は、舗装の劣化が激しく、十分な歩道幅がありません。通行の安全を確保するため、舗装の打換と歩道の植栽帯を撤去する改良工事を順次実施します。

事業期間：平成22～23年度 延長：1,200m



このほか、天神東崎鹿谷土地区画整理事業区域内で天神横谷線の改良工事を進めています。

国道372号社バイパス 田中工区が開通しました



県道東古瀬穂積線(旧175号)から西を望む



このたび、国道372号社バイパスの田中工区(松尾地内～国道175号)が完成し、関係者により開通式が行われました。

平成21年3月に開通した山国工区と合わせると、全体計画5.1kmのうち2.8kmが開通したことになり、これまで以上に社市街地の交通渋滞緩和や事故防止などの効果が期待できます。

なお、加古川に架かる加東大橋を含めた残りの2.3kmは、平成24年度に開通予定です。

道路の異常を発見したら 建設総務課へご連絡ください

☎ 48 - 3463 / 48 - 3495

道路に穴が空いている 道路に材木、岩などが落ちている
道路が油で濡れている 路肩が崩れている

など、道路の異常を発見されたときは、建設総務課へご連絡ください。



安全・安心のまちづくりに向けて 加東の「道づくり」

特集
加東の道路整備

問い合わせ
建設部土木課(滝野庁舎)
☎48-3418

道路の整備は、移動時間を短縮するだけでなく、地域振興や市内外との交流の活性化、交通事故の減少、防災力の強化など、さまざまな効果をもたらします。市では、「利便性」「快適性」「安全性」を高め、市民の誇れる道路の整備を順次進めています。今回は、その主なものをご紹介します。

市道データ

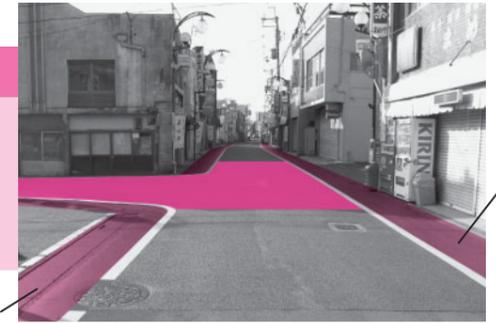
路線数 915路線
総延長 513km
舗装率 91.5%
(平成22年4月1日現在)

社地域

社市街地地区(歩車共存化整備)

社市街地の市道を、歩行者と自動車が共存して安全に通行できるユニバーサル道路として整備を進めています。

事業期間：平成21～24年度 総延長：2.3km
(注意)歩行者の安全な通行のため、歩行帯(グリーン舗装部)には車を駐車しないでください。



歩道部グリーン



歩道部グリーン

梶原幹線

県道西脇三田線と県道東古瀬穂積線(旧175号)を結ぶバイパス道路として、車道幅員6mの2車線で、両側に2.5mの歩道を確保します。平成23年度中に工事を完了し開通する予定です。

事業期間：平成21～23年度 延長：250m

このほか、狐谷山国線(山国地内・道路拡幅)、大門北野線(大門地内・道路拡幅)、宮ノ下高町線(上田地内・道路新設、拡幅)などの整備を進めています。

滝野地域

高岡河高線

全面舗装改良工事を施し、歩道部をカラー舗装することで、歩行者と自動車が共存して安全に通行できるように整備を進めています。

事業期間：平成21～22年度 延長：660m



歩道部グリーン

歩道部グリーン

下滝野南3号線

道路幅員が狭く、通行の安全に対する不安を解消するため、道路を拡幅しました。

事業期間：平成21～22年度 総延長：190m



このほか、東桜台線(高岡地内・歩車共存化)、下滝野西線(下滝野地内・舗装改良、側溝整備)、河高下滝野線(河高地内・道路拡幅)などの整備を進めています。

また、滝見橋を含む滝野梶原線の整備は、平成23年度から詳細設計に着手する予定です。